

2019年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年9月9日

上場会社名 株式会社ウイルコホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7831 URL <http://www.wellco-corp.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 若林裕紀子
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 林岳志 (TEL) 076-277-9831
 四半期報告書提出予定日 2019年9月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年10月期第3四半期の連結業績 (2018年11月1日～2019年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年10月期第3四半期	11,889	4.5	△419	—	△396	—	△306	—
2018年10月期第3四半期	11,376	△3.1	△71	—	△199	—	△190	—

(注) 包括利益 2019年10月期第3四半期 △432百万円(—%) 2018年10月期第3四半期 △109百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年10月期第3四半期	△12.48	—
2018年10月期第3四半期	△7.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年10月期第3四半期	15,933	5,745	36.1
2018年10月期	16,753	6,226	37.2

(参考) 自己資本 2019年10月期第3四半期 5,745百万円 2018年10月期 6,226百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年10月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2019年10月期	—	0.00	—	—	—
2019年10月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年10月期の連結業績予想 (2018年11月1日～2019年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,200	△0.5	△520	—	△490	—	△420	—	△17.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2019年10月期3Q	24,650,800株	2018年10月期	24,650,800株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2019年10月期3Q	52,690株	2018年10月期	52,690株
-------------	---------	-----------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2019年10月期3Q	24,598,110株	2018年10月期3Q	24,598,111株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載した予測数値は、現在入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際に事業等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2018年11月1日～2019年7月31日)における我が国経済は、2019年4-6月期のGDP成長率が、年率換算で実質1.3%増と3四半期連続のプラス成長となりました。国内経済は輸出や生産の一部に弱さがみられるものの、企業収益や雇用・所得環境の改善により緩やかな拡大基調にありました。一方、米中の貿易摩擦の長期化による中国経済の減速や英国のEU離脱を巡る混乱、海外情勢の不確実性により、先行きの景気減速懸念が強まっております。

当社グループを取り巻く環境は、IT化の進展に伴う情報媒体のデジタルシフトの影響により、印刷用紙の国内出荷は前年同月対比で連続して減少しております。一方、製紙各社による用紙値上げは着実に進み、製造原価の上昇が続いております。

このような環境の中、情報・印刷事業におきましては、当社独自製品やデジタル印刷等の受注に力を注いだ結果、セグメント売上高は8,361百万円(前年同期比9.4%増)と増収になりました。これには、ECサイトからの受注も貢献をしていることから、引き続きECサイトの充実に努め、受注チャネルの多様化を進めてまいります。また、製造コスト面では、オペレータの人員配置見直し及び多能工化等による製造コスト削減を図った結果、セグメント利益は180百万円(前年同期比32.4%増)となりました。

メディア事業につきましては、上期において事務所移転、人件費削減等の固定費削減策を講じた結果、セグメント利益は64百万円の損失(前年同期は113百万円の損失)(第2四半期までのセグメント利益は56百万円の損失)となりましたが、依然赤字基調にあります。セグメント売上高は1,312百万円(前年同期比21.5%減)となりました。今期新たに組み立てしておりますWEBサイトを軸としたエリアマーケティング支援サービスが中小企業支援補助金の対象に認定され、第4四半期には申請期限を迎えることから、これまでに獲得した見込クライアントのクロージングを加速させてまいります。また、人材紹介事業も本格的展開のための準備が整い、年度内の成果獲得を図ります。

知育事業につきましては、昨年の上期には連結の対象でなかった1社が、新たに連結対象となったことから、セグメント売上高は2,894百万円(前年同期比9.7%増)となりました。月刊誌の付録及び主力商品である音の出る本については堅調に推移するとともに、小学校の英語教育授業実施に伴う音ペン等の教育玩具の新規引き合いも増加しております。為替予約やグループシナジーによる原価低減策は功を奏しましたが、昨年下半年の意欲的な発刊が今上期の在庫増加を招き、在庫の一時的評価減を行った結果、セグメント利益は218百万円の損失(前年同期は245百万円の利益)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,889百万円(前年同期比4.5%増)となり、営業損失は419百万円(前年同期は営業損失71百万円)、経常損失は396百万円(前年同期は経常損失199百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は306百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失190百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は15,933百万円と、前連結会計年度末に比べて819百万円減少いたしました。これは主として、受取手形及び売掛金の減少606百万円、土地の減少483百万円、現金及び預金の増加635百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は10,188百万円と、前連結会計年度末に比べて338百万円減少いたしました。これは主として、短期借入金の減少260百万円、支払手形及び買掛金の減少148百万円、リース債務(固定)の減少143百万円、電子記録債務の増加406百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は5,745百万円と、前連結会計年度末に比べて481百万円減少いたしました。これは主として、利益剰余金の減少356百万円、その他有価証券評価差額金の減少71百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年10月期通期の業績予想につきましては、2019年9月6日に「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表しました業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,850	4,486
受取手形及び売掛金	3,696	3,089
商品及び製品	700	624
仕掛品	158	147
原材料及び貯蔵品	197	460
その他	321	177
貸倒引当金	△15	△12
流動資産合計	8,908	8,974
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,147	1,099
機械装置及び運搬具（純額）	684	635
土地	2,602	2,119
その他（純額）	1,378	1,260
有形固定資産合計	5,812	5,115
無形固定資産		
のれん	500	436
その他	83	111
無形固定資産合計	584	548
投資その他の資産		
投資有価証券	1,019	878
長期貸付金	142	143
破産更生債権等	34	3
繰延税金資産	0	5
その他	343	324
貸倒引当金	△91	△58
投資その他の資産合計	1,447	1,295
固定資産合計	7,844	6,959
資産合計	16,753	15,933

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,844	1,696
電子記録債務	1,307	1,714
短期借入金	450	190
1年内返済予定の長期借入金	762	862
リース債務	232	234
未払金	503	507
未払法人税等	37	9
預り金	13	24
返品調整引当金	57	32
賞与引当金	90	43
資産除去債務	14	—
その他	231	146
流動負債合計	5,545	5,461
固定負債		
長期借入金	2,881	2,786
リース債務	1,208	1,065
退職給付に係る負債	480	478
繰延税金負債	307	290
資産除去債務	24	24
その他	79	81
固定負債合計	4,981	4,726
負債合計	10,526	10,188
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,667	1,667
資本剰余金	1,758	1,758
利益剰余金	2,641	2,285
自己株式	△4	△4
株主資本合計	6,063	5,707
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89	18
繰延ヘッジ損益	34	△1
為替換算調整勘定	12	△1
退職給付に係る調整累計額	26	22
その他の包括利益累計額合計	163	37
純資産合計	6,226	5,745
負債純資産合計	16,753	15,933

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年11月1日 至2018年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年11月1日 至2019年7月31日)
売上高	11,376	11,889
売上原価	8,864	9,609
売上総利益	2,512	2,279
販売費及び一般管理費	2,583	2,698
営業損失(△)	△71	△419
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	16	14
受取賃貸料	17	16
為替差益	—	35
受取保険金	2	0
その他	17	23
営業外収益合計	60	94
営業外費用		
支払利息	66	57
持分法による投資損失	55	6
不動産賃貸原価	6	3
為替差損	42	—
支払手数料	17	4
その他	0	△0
営業外費用合計	188	71
経常損失(△)	△199	△396
特別利益		
固定資産売却益	0	20
投資有価証券売却益	142	0
関係会社株式売却益	—	130
特別利益合計	143	151
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産除却損	3	1
投資有価証券評価損	3	22
関係会社整理損	85	—
特別損失合計	93	25
税金等調整前四半期純損失(△)	△149	△270
法人税、住民税及び事業税	46	19
法人税等調整額	△6	16
法人税等合計	40	35
四半期純損失(△)	△190	△306
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△190	△306

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)
四半期純損失(△)	△190	△306
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	△71
繰延ヘッジ損益	22	△36
為替換算調整勘定	93	△1
退職給付に係る調整額	5	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△12
その他の包括利益合計	80	△125
四半期包括利益	△109	△432
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△119	△432
非支配株主に係る四半期包括利益	9	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年11月1日 至 2018年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	情報・印刷事 業	メディア事業	知育事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,102	1,664	2,608	11,376	—	11,376
セグメント間の内部売上 高又は振替高	542	7	29	579	△579	—
計	7,645	1,671	2,638	11,955	△579	11,376
セグメント利益又は損失 (△)	136	△113	245	268	△339	△71

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△339百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

鈴木出版株式会社の株式を取得し、当第3四半期連結会計期間において、新たに連結の範囲に含めたことに伴い、「知育事業」セグメントにおいてのれんが122百万円増加しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	情報・印刷事 業	メディア事業	知育事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,713	1,310	2,865	11,889	—	11,889
セグメント間の内部売上 高又は振替高	648	2	28	679	△679	—
計	8,361	1,312	2,894	12,568	△679	11,889
セグメント利益又は損失 (△)	180	△64	△218	△103	△316	△419

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△316百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。